

野鳥公園ラウンジカフェニュース

野鳥公園ラウンジカフェとは



2012年12月

多くの渡り鳥が飛来するなど豊かな自然環境を有する博多湾、その東に位置するアイランドシティに、約12haの野鳥公園の整備を予定しています。野鳥公園ラウンジカフェは、住民や学生など市民をはじめ、専門家、事業者、NPO、行政など多様な主体が野鳥公園の整備や活用、運営に向けて語り合う場です。野鳥公園が整備されるまで継続して実施する予定で、今年度は3回の開催を予定しています。その第1回が11月11日に開催されました。



第2回 野鳥公園ラウンジカフェ

次回のラウンジカフェは、年明け1月に開催します。「野鳥公園でできることって何だろう?」、「人にとっての野鳥公園って?」、「野鳥にとっての野鳥公園?」など、誰が何をするための空間なのかを、参加者全員でワイワイ語り合いませんか?地域にお住まいの皆さんをはじめ、環境保全やコミュニティデザインに取り組むNPO等の団体、公園設計や生態保全を学ぶ学生、CSR活動に取り組まれている各種企業の担当者の方、そして、野鳥公園に興味を持たれた市民の皆さんなど、幅広いご参加をお待ちしております。



日時 2013年1月19日(土) 13:00～16:00 ※開場12:30

場所 天神クリスタルビル Aホール 福岡市中央区天神4-6-7

プログラム ワールドカフェ：みんなでつくろう「〇〇ができる野鳥公園」

●参加費：無料 どなたでも参加できます！※お子様もご参加いただけます。

●主催：福岡市環境局

申し込み締め切りは1月11日(金)です

◆参加を希望される方は、電話、FAX、メールのいずれかで、氏名、住所、連絡先（電話番号もしくはメールアドレス）を添えてお申し込みください。グループやご家族で参加される方は、全員の人数をお伝えください。

お申し込み先／お問い合わせ先 福岡市役所 環境局 環境調整課 野鳥公園整備担当 【担当：名川】



092-733-5389



092-733-5592



nagawa.m02@city.fukuoka.lg.jp

予告：第3回 野鳥公園ラウンジカフェ

◆日時 2013年3月16日(土) 13:00～16:00 ※開場12:30

◆会場 あいれふ：福岡市健康づくりセンター 10階 (福岡市中央区舞鶴2-5-1)

第1回野鳥公園ラウンジカフェの振り返り

■開催日時：2012年11月11日（日）13:00～16:00

■会場：福岡ビジネス創造センター

□参加者：45名

■プログラム：①お話と野鳥観察：アイランドシティの野鳥たち（日本野鳥の会福岡 小野仁先生、田村耕作先生）

②ワールドカフェ：「野鳥公園ってなに？」



①お話と野鳥観察

アイランドシティ中央公園へ繰り出し、日本野鳥の会の方々の解説のもと野鳥観察会を行いました。望遠鏡越しに野鳥の様々な生態をみることができ、当日目撃された野鳥は、陸の鳥、水辺の鳥あわせて約35種類にものぼりました。

また、福岡市は、北半球のシベリアやアラスカなどからカムチャッカ半島やサハリン経由で日本列島を縦断し南方へ渡る渡り鳥のルートと、朝鮮半島から九州を経由し南方へ渡るルートが交差するクロスロードとなっているため、毎年多くの野鳥が飛来し、渡りの中継地や越冬地等として利用されていることや、近年の博多湾への野鳥飛来数、カモ類の興味深い生態等についてクイズを交えて楽しくお話ししていただきました。



野鳥クイズ



写真は、「ミヤコドリ」という野鳥で、博多湾でも見ることができます。さて、この鳥の名前「みやこどり」の名前の由来となったエピソードは、次の3つのうちどれでしょう？※答えは一番下の欄に！！

①宮古さんという人が発見した ②宮古島に多く生息している ③「ミヤー」と鳴く小鳥でみやこどり



講師の小野さん

②ワールドカフェ：「野鳥公園ってなに？」

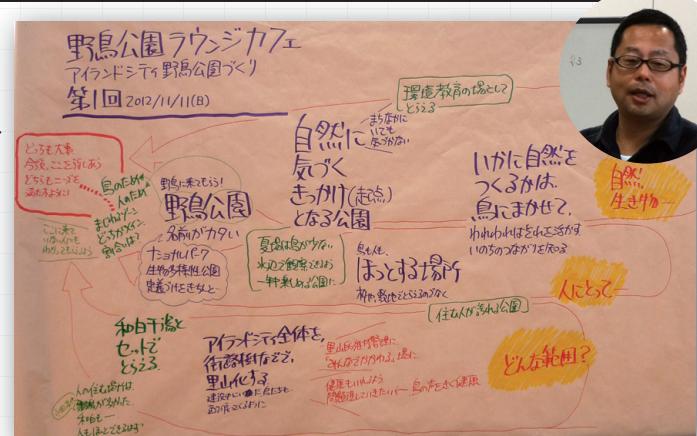
今回は「野鳥公園ってなに？」というテーマのもとワールドカフェを行い、参加者の皆さん全員がそれぞれの意見や思いを語り合いました。積極的で熱のこもった声が飛び交う様子はまさに**本物のカフェのよう**！少人数での話し合いは、参加者全員に**発言する機会**を与えてくれます。グループを入れ替えたながら進むカフェは、徐々に**熱気**を帯びてきました！！笑顔の中に見える**真剣なまなざし**、その場にいた全員が**時間を忘れて語り合い**、気がつけば制限時間ギリギリまで貴重な意見が沢山飛び出しました。



ワールドカフェでは、少人数に分かれたテーブルで、カフェでお茶をするかのようなリラックスした雰囲気の中で話し合いを行います。話し合いの中で出てきた様々な意見やアイデアは、テーブルクロスに見立てた模造紙の上に書きためていき、さらに、他のテーブルとメンバーをシャッフルしながら話し合いを発展させていくことによって、様々なアイデアや新たな発見が生まれ出されます。

最後にワールドカフェの総括として、対話の中から興味深かった意見や心に残った言葉などを、ファシリテーターの田坂さんにまとめていただき、参加者全員で共有しました。野鳥公園とは…

- 自然に気づくきっかけとなる公園
 - 鳥も人もほっとできる場所
 - 環境教育の場
 - いかに自然をつくるかは鳥にまかせる。人はそれを活かす
- というように、人だけでなく自然や生き物の立場に立つた意見がたくさん出ました。



ファシリテーターの田坂さんとカフェのまとめ

その他のご意見

- ◆野鳥のための公園か、人間のための公園か。バランスが難しい／◆極力人間が手を入れない環境（里山みたいな）を、罪滅ぼしとしてつくる／◆里山は手が入るから多様性がある、野鳥公園にも人の手が入ってもいいのでは？／◆行政と市民が対立するのではなく、市民活動の具現化を目指していく／◆地域の人の感じ方は大切にしたい／◆野鳥が来やすい公園が大前提。また、野鳥だけに限らず生き物が主役／◆野鳥と付き合うルールを学ぶ環境教育施設／◆野鳥を通じたコミュニケーションを図ることのできる場／◆野鳥に公園づくりをまかせて、10～20年間、とにかく待つ！